



謹賀新年

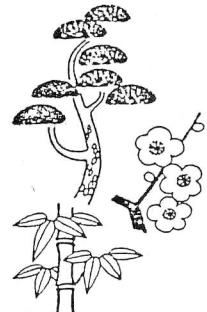
昭和六十三年 元旦

洛 友 会 役 員

東京支部長 関西支部長 中部支部長 北陸支部長 中国支部長 北海道支部長
常任幹事

副会長

京都大学工学部
電気系教室内
洛友会
京都市左京区吉田本町



竹池近深三中池松野大角中越高大吉上河金真本芦松
村上藤町国川内谷村野田島坂木谷岡西本井田多原田
文文藤文修義健精 達延俊泰俊亮勝久安静義長
治一 一 兵 三
清夫治吉郎郎則郎二彰寛二夫宜之男二寿衛夫雄重郎

京都大学	電気関係教室	松下電器産業
財団法人	関西電気保安協会	情報システム研究所
教官一同	理事長 前田 義里	所長 三木 強一
取締役社長 内山正太郎	代表取締役 北野 山人	所次長 真弓 和郎
フジテック株式会社	株式会社 島津製作所	トクデン株式会社
代表取締役 栗原 英三	取締役社長 西八條 實	電気評論社
シヤープ株式会社	日新電機株式会社	株式会社
京阪電気鉄道	京阪電気鉄道	栗原産業株式会社
株式会社	株式会社	株式会社

新年賀謹

昭和六十三年元旦

四電エンジニアリング

株式会社

取締役社長 長島 修

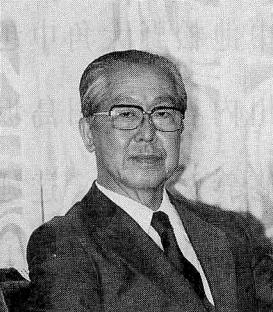
先端技術で地域に奉仕

四国計測工業株式会社

取締役社長 矢野禮治郎

千代田化工建設

株式会社



新年のご挨拶

洛友会副会長

大谷 泰之

さて昨年12月1日付で発行された洛友会名簿は既にご活用頂いています。その内容は年を経るに従つて益々整備充実されており、京大他部局の同窓会名簿の中でも最高レベルのもと評価されていることは、本会の大きい誇りとするところでありまして、この機会に改めて常任幹事と広告募集などにご協力頂いた各支部役員その他の皆様のご努力に深謝申し上げます。

さて昨年は急激な円高が始まり、歴史的な米ソ主脳会談で終りましたが、国内的にも国際的にも政治・経済・産業・社会・教育その他各方面における大激動の年でありました。今年も決して予測を許さない情勢が続くものとも思われますが、一方経済産業界では最近になって、円高不況をはね返して景気回復傾向が強まると共に、各方面で明るさが見えてきました。わが国の近年の事例をみても、最近の種々の難問題も逐次切り拓かれて、予想外に早く明るい一九八八年を迎えることと思われます。

この名簿によりますと、会員総数は居所判明の方で五一二〇名位であって、その内大正年間の卒業生は一二〇名位(全体の一・三%)で、昭和20年卒業生追加ると九二〇名位(一八%)になり、高令化時代に向っているとは言え、この%が年々減少してくることは已むを得ない傾向であります。

それについても94歳の最高令になられた会長の松田先生は、昨年9月頃、暫く入院静養しておられましたが、10月に退院されましてから、順調に回復され、先頭開かれました。終りに会員の皆様の益々のご活躍を祈つて新年のご挨拶と致

株式会社 イー・ディ・エー 取締役社長 松尾 三郎	株式会社 日立化成工業 取締役社長 土方 利夫 相談役 高木 正	株式会社 高周波熱鍊 取締役社長 土方 利夫	株式会社 千代田化工建設 取締役社長 矢野禮治郎
---------------------------------	---	------------------------------	--------------------------------

財團法人 応用科学研究所 コンサルタント 取締役社長 松尾 三郎

何れにしても会員の皆様にはこの話は変りますが近年の科学技術革新年代は或る意味では「超」科学技術の時代とも言えると思います。昨春以来ファーバーになつてゐることと思いますが、その内容は年を経るに従つて益々整備充実されており、京大他部局の同窓会名簿の中でも最高レベルのもと評価されていることは、本会の大きい誇りとするところでありまして、この機会に改めて常任幹事と広告募集などにご協力頂いた各支部役員その他の皆様のご努力に深謝申し上げます。

それらの実用化の予想を超えた早期実現、さらにそれによる人間社会生活の大変革新等の可能性が考えられます。

革新的科学技術の推進には、官学・産各界あわせての基礎的基盤的研究の振興充実が何よりも肝要であると思います。と同時に科学技術と人間社会生活との調和問題も忘れることなく、更にまた科学技術人材の育成に当つては心の文化的教育と人間教育にも配慮することも大切であると思つています。

終りに会員の皆様の益々のご活躍を祈つて新年のご挨拶と致しました。終りに会員の皆様の益々のご活躍を祈つて新年のご挨拶と致しましたが、お元氣に乾杯の音頭をとられました。

教室だより



高木俊宜先生の停年ご退官について

イオン工学の提唱者として、またクラスターイオンビーム技術の開発者として、世界の指導的役割を果してこられた高木俊宜教授は、昭和63年3月31日をもつて停年退官される。同教授は、昭和22年に京都帝国大学工学部電気工学科を卒業、同大学院特別研究生として研鑽を積めた後、昭和24年に神戸工業株式会社に入社され、主としてマイクロ波電子管の研究開発、製造を担当された。昭和40年に京都大学工学部教授として迎えられ、電子工学教室電子装置講座を担当、今日に至っている。この間、マイクロ波固体デバイス、超高速スイッチングデバイスの開

クロ波イオン源、含浸電極型液体金属イオン源の開発研究を行ない、イオノ工学的技術体系の確立へと進まれた。特に、我が国の独創的な新技术として世界的に注目されてい るクラスターイオンビーム技術（新材料創成および蒸着膜制御、結晶成長技術）の開発は、材料科学の発展に大きく寄与し、金属、半導体、絶縁物、磁性体から有機物に至るまで、あらゆる分野にわたって人 工的新材料、高機能デバイスの開発に成功された。これらの研究を通じて、お互いの原子が緩く結合した巨大な塊状原子集団（クラスター）と云う新しい超極微の世界

(兼任)として今日に至っている。学外にあっては世界初の本格的な「イオン工学に関する国際会議」を実行委員長として開催され、学会、財団関係では電気学会副会長、同関西支部長、応用物理学学会理事、同評議員、応用科学研究所理事、イオン工学振興財団理事などの要職を歴任され、学術の発展に尽力されたと共に、文部省学術審議会専門委員、科学技術庁「航空・電子等技術審議会」委員、通産省大型プロジェクト委員会委員、通産省産業技術審議会専門委員などを務められ、我が国の学術行政および科学技術の発展に尽くしてこられた。これらのご功績、特にクラ

偏向系の開発など真空電子デバイスから固体電子デバイスにわたつて、幅広い研究を推進されると同時に、各種イオン源の開発に先駆的活動を展開された。すなわち、ビームプラズマ型イオン源、セルフクロスドフィールド型イオン源、金属蒸気クラスターイオン源、中性およびイオン化アルカリ金属照射併用型負重イオン源、小形マイ

セス技術による電子デバイスの開発研究など、電子装置およびイオン工学における研究に幾多の独創的、先駆的な業績を挙げられると共に、産官学や諸外国との協同研究における新しい研究の推進や後進の指導にあたつてこれられた。また、学内において昭和49年に大電力イオン源装置室、昭和53年に工学部附属イオン工学実験施設を設立され、イオン工学実験施設長設

記

題	場	日
目	所	時
「イオンと私　—新材料・高機能デバイス開拓のための新技術開発を願みて—」	京都大学工学部電気総合館	昭和63年3月12日(土) 午後1時より

2、記念式典

日時	昭和63年9月11日(日)
場所	都ホテル
午前11時より	

坂井利之先生の停年ご退官について

本学工学部情報工学科教室の坂井利之教授が、昭和63年3月31日をもつて停年退官されます。同教授の最終講義は、左記の通り行われります。

記

日時	昭和63年3月8日(火)
午後1時より	
場所	京都大学工学部電気総合館

に理論的・実験的に多くの知見を与えた。また、イオンビームの輸送や固体表面との相互作用に関する研究、イオンを基礎とした

スターイオンビーム技術の開発
より、昭和61年4月には科学技術
府長官賞（功労者賞）を受賞さ
た。

このたび、同教授の退官を迎へるにあたり、左記の退官記念講義および記念式典を行なうことになっている。

懇話会・懇親会について

電気系教室懇話会の行事の一つである秋期講演会と懇親会（このスタイルでは5回目を迎える）が、大谷先生始め名誉教授の先生がたなど、雨天にも拘らず多数の参加を得て10月24日㈯に開催された。

第一部の講演会は三名の先輩に講師をお願いし、電気総合館大講義室において、電気工学教室主任卯本教授の司会で2時から5時まで行われた。先ず、電子工学教室主任の川端教授の挨拶の後、名誉教授の上之園佐先生（昭和18年卒業）から「エネルギー研究への取り組みについて」と題するご講演があった。豊かな人間生活を営むために必要不可欠なエネルギーについて、過去におけるエネルギー資源の変遷から始まって、現代の電気エネルギーにまつわる諸問題、さらには将来のエネルギー資源をどのように解決すべきなど、示唆に富んだ先生のご意見を拝聴した。

次に、日本電池㈱社長の寿栄松憲昭氏（昭和26年卒業）から「蓄電池のもつ電気特性と技術動向」と題する講演があった。現在使用されている蓄電池の電源としての特異性とその問題点、ならびに将来への課題について簡潔に解説さ



一筋の道を歩まれて生まれた电池への愛着をこめて、短時間の大電力放電は寿命を縮め、使用環境によつても寿命が左右され、適宜充電する必要性など、电池は人間とよく似た面があると述べられ、聴衆の興味を誘った。また、国際電信電話㈱大阪支社長の井上誠一氏（昭和28年新制第一回の卒業で、最初の博士課程終了者）から「国際電気通信の動向」と題する講演があつた。国際化社会を迎えての国際通信の現状、サービスの変遷、運営の効率化、既存の海底ケーブル

（昭和28年新制第一回の卒業で、最初の博士課程終了者）から「国際電気通信の動向」と題する講演があつた。国際化社会を迎えての国際通信の現状、サービスの変遷、運営の効率化、既存の海底ケーブル

にお話し載いた。また、国際電話につきまとう時間遅れの対応策など、通信に関する技術と事業に

またがる幅広い内容について簡潔にお話し載いた。また、国際電話につきまとう時間遅れの対応策など、通信に関する技術と事業に

心よくお受け頂いた三名の講演者、ならびにご出席頂いた名誉教授と諸先輩の方々には厚くお礼申し上げるとともに、来年も多数の

ご参加をお願いしたい。

（川端教室主任記）

支部だより

開西支部家族旅行会

昭和62年11月3日（文化の日）

関西支部恒例の家族旅行会を行な

つた。当日は会員、家族合わせて

150人が参加し、大阪発2台、

京都発2台、計4台の観光バスに

分乗し、滋賀県信楽高原と永源寺

の秋を楽しんだ。

大阪組は阪神ホテル前を8時30分に、京都組は関電京都支店裏を

9時に出発し、名神高速道を一路東に向ったが、10時30分頃相次いで信楽は陶器の里に到着した。

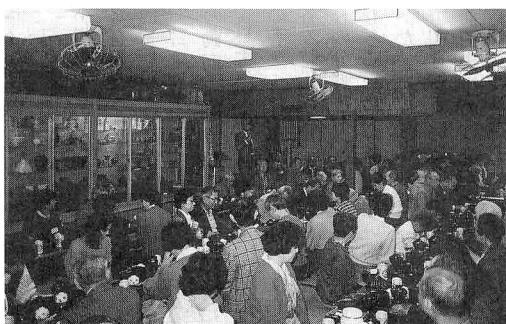
一行は先づ宗陶園という陶器工場の中の陶器教室で陶器の製作を行なつた。指導員のやるのを見て

陶器教室のあとの昼食懇談会では、角田支部長と本部副会長大谷先生の御挨拶があり、近藤先生の御発声で乾杯を行なつたあと、同期生、先輩、後輩、家族を交えて

の、幕の内弁当を食べ乍らの懇親会になつた。

食後は工場内で、陶器製作の工





程を見学したり、信楽焼の狸を買つたりしたあと、第3セクターで新しく生れかわった信楽高原鉄道（もとの国鉄信楽線一本年2月新会社として開業）のレールバスで乗り、車窓の紅葉を楽しんだあと、終点貴生川駅から再び観光バスで永源寺へ向つた。

永源寺では生憎小雨になつたが

糠雨に煙る愛知川渓谷の秋も又格別な風情があり、雨に濡れた境内を散策して、紅葉の枝をくぐり、立並ぶ土産物屋の店先で、こんにゃくの品定めなどしながら、時を過した。

そして、17時、暮れようとする

鈴鹿の山々を背に、4台のバスは永源寺発帰路についた。

中部支部秋の行楽会 杉本美術館見学と 南知多ビーチランド

恒例の中部支部秋の例会（家族行楽会）が快晴の敬老の日に行われ、30人を越す参加で、当支部としては（？）大盛況でした。

愛知県は「文化不毛の地」とよ

く悪口を云われる。これは珍しい現存画家のコレクション館が本年4月24日南知多（名鉄新名古屋駅より特急50分、美浜緑苑駅下車・徒歩5分）に誕生しました。杉本美術館です。

杉本画伯は、明治38年名古屋市の生れ、画が収集家によって死蔵されるのを嘆かれ、自分の作品は殆んど所蔵されており、これが今回展示の場を得たわけです。たまたま前支部長、本多静雄氏が画伯と親交があり、画伯から特に請われ当美術館長に就任されてしま

た。



同窓会だより

卒業三十周年 記念クラス会

昭和62年11月7日に、電気32年卒業のクラス会を、大谷先生、田

中先生、近藤先生、池上先生のご出席を賜つて、高野のホリディ・イン・京都にて開催しました。

全国各地から32名が参加して、先生がたのますますご健勝ぶりを、喜ぶとともに5年ぶり、人々よっては30年ぶりの再会を、楽し

みました。

社会では、オジンに属する私達も、先生がたと歓談するときには、心から学生気分に戻つた一時でした。

リタイヤーして暇が出来た……など、参加者が増えた事は喜ばしいが、やはりもっと若い人の参加が望まれる。幹事の智慧か足りないせいいか?

今日は子供さん、お孫さんにもサービス、と云うことで、第2部は美術館から3糸ばかりの海浜遊園地「南知多ビーチランド」に遊びました。子供は一人だけでした。

本多前支部長は卒寿の御高令で本年の支部総会でもつて大野彰氏（昭和25年）にバトンタッチされたが、まだまだお元気、この館長だけは断れなかつたそうで、「館長の条件である——杉本画伯と親しいだけなら幾らでも居る。恐らく僕が無害（有害な人は論外）、無益の存在だからだろう。死ぬまで

（石川記）

次回をお楽しみに。

（文責 西台 悼）

32年卒にちなんで、32年目にもうらとの声が多く有りました。

谷教授にご出席頂いた。

卒業・修了生百三十九名中40名の参加であった。同会は、第一部

を記念講演会、第二部を記念バ

昭和四十二年卒業 昭和四十四年修士修了 卒業二十周年同窓会

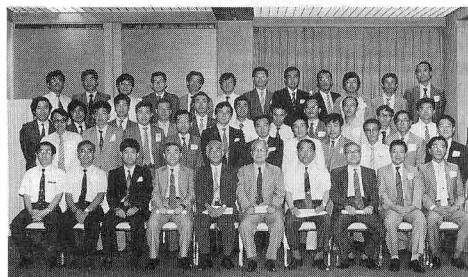


科・電気工学科第二学科卒業者及び昭和44年同修士課程修了者の学部卒業20周年同窓会を昭和62年8月1日㈯に京大会館にて開催した。

卒業及び修了時の教室主任の先生として、前田名誉教授、上之園名譽教授、高木教授、卯本教授、板

谷教授にご出席頂いた。

卒業・修了生百三十九名中40名の参加であった。同会は、第一部



京大電気系昭42年卒業44年修了同窓会
昭和62年8月1日 於京大会館

テイの形式で開催した。

記念講演会では、同窓生である

小川忠彦君(電波研)に「南極越

冬体験記」、古賀隆二君(岡山大)

に「最近の大学と大学生」、別所義

夫君(NTT)に「電気通信事業

の動向」、間宮馨君(科技庁)に

「科学技術の国際交流について」

の各テーマで講演をお願いした。

各々時代にマッチし、且つそれぞ

れの分野において豊富な経験を

もとにした大変興味深い講演であ

った。

引き続き、記念パーティに移り、

前田先生のご発声による乾杯の

後、来賓の先生方のお言葉に交え

て、出席者全員の近況報告があり、

話題は仕事、趣味、家庭など、そ

れぞれ面白可笑しく和氣藹々の裡

で、大変興味深い講演であった。

にすすめられた。

卒業してから20年を経て、容貌

等に変化があるのではないかと期

待されたが、学生時代と変わらず、

特に先生方のお話を聞く態度は学

生時代と全く同じであるのが印象

的であった。午後8時ごろ無事同

窓会は終了し、思い出の京都の夜

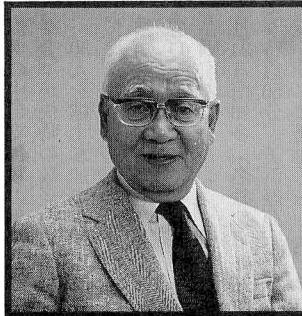
の町に各々グループを組んで消え

て行つた。

(仁田記)

会員寄稿

大正十五年卒
小宮 義和



昭和62年10月1日前8時、富永君逝去と、2日の朝刊で見た。実に悲しい。
富永君は伊豫宇和島出身、明治36年の早や生れ。同じ年の9月生

れの私が京大電気に入った時に

は、2年生であった。

同級生には、故平寛一郎氏、

故橋本真吉氏、故一本松璣珠氏ら

が居られた。

一本松氏から「聖上陛下と同年

同月同日の生れ」、橋本氏から

「一九〇一年生れ」西暦の下二桁

が私の数え年。誕生日はワシントンと同じ2月22日」と聞かされた。

富永君は京大寄宿舎が橋本氏と同

室。戦後の重電機米国生産性視察

は橋本氏と一緒に赴かれた。

戦後、この人達と室内同伴の14

日会旅行を度々した。皆それぞれ

に戸話をされた。

戦前にも富永君の世話を木津・

水内・口羽君らと八幡製鉄を見学

したことがある。その後建築学会

が表彰した「一楽」を見学した。

お土産に貰った博多織のネクタ

イを急用で不参の一本松氏の分

も貰い「これから毎月の14日会に

締めることにしよう」と約束した

のに、次の会では、不参の一本松

君だけが締めて来られて、一同済

まない思いをした。

富永君は大学を出てすぐ日瑞貿

易に就職された。併し日支事変で

輸入困難となつた時、日立の大坂

営業所長池田亮次氏(のち常務)

の斡旋で、日立入社の話が進んで

いた。所が一年下で日瑞貿易に居

られた歌原誠一氏が入社となり、

の王様」として、毎月何ダースか

頑固な日立の社風で、歌原氏は苦

労された。

富永君が転職された安川電機の

社長、安川第五郎氏は、東大卒業

くなられた。急いで帰国されたが

お慰めのしようもなかつた。永年

が、届けられていると聞いた。

お氣の毒だったのは、スイス御

出張中に御長男が自動車事故で亡

くなられた。急いで帰国されたが

お慰めのしようもなかつた。永年

富永君はそれを案じられたのである。

最後に富永君が私に推賞された誠にさわやかであった富永君が浮かんで来る。重ねて富永君の冥福を祈る。(62・10・4)

中 国 雜 記 (4)

昭和二十三年卒
陶 坊 資

今回は、私の專業である電力について、少し思い出してみよう。

(一)

中国の電力は、公式発表による

と、設備容量八千万キロワット。

その70%は火力であるが、水力資源も包蔵、未開発を含めて極めて豊富、例えば、揚子江を三峡でせきとめると、一ヶ所で軽く二千から三千万キロワットの発電所が出来ると言ひ、電力開発の方針として、「水主火從」を打ち出している。

送電網も、全国6大地区に11万ボルトと22万ボルトの大きな電力系統があり、その間を50万ボルト

の送電線で連繋し始めている。回

線長にすると、50万ボルトが千六百キロメートル、33万ボルトが千キロメートル、22万ボルトは30万キロメートル以上にもなる。

(二)

元々中国には、東北(旧満州)に日本が作りかけていた22万ボルトの電力系統があつただけで、関内(東北を除く中国本土の事)は都市周辺に火力発電所が点在するのみで、電力系統は全く存在していなかつた。日本降伏前後に東北に入つて来たソ連軍は、発電機や他の設備を戦利品として持ち帰り、

中国は、解放後、徹底的にソ連の援助を受け、ソ連に学んだ。沢山の当時の若者がソ連に留学している。今度新に首相に就任するといわれる電力出身の李鵬氏もこの頃のソ連への留学生であった。従つて、中国に於けるソ連の影響は極めて大きい。

電力の組織についても、全くソ連式である。例えば、專業の分け方にしても、先ず設計、工事、運輸、それに恐ろしく団体のでかいソ連製と、中国独自で作った発電機が、どちらもよく並んでいるのが見られる。大体中国は、古い物製、それには恐ろしく団体のでかい

中々壯觀である。

又、汽車に乗つて東北を走ると

様々な鉄塔支持物——元満電(満州電業株式会社)のキャット型(猫頭型)、アメリカンブリッジを模倣した四十五度ひねったローテーテ

(四)

ドタワー、何れも日本では一寸

見られない型、それにソ連製の恐ろしくごつつい鉄塔や支線を張りめぐらした中国独特のコンクリートポールの群——が次々と現れ、倦きす眺める我々の眼を結構楽しませてくれる。

この電力系統は全く存在していなかつた。日本降伏前後に東北に入つて来たソ連軍は、発電機や他の設備を戦利品として持ち帰り、

修理用建屋を削る。何年かに一度の修理なら、テントでもよからうとの発想だ。又、建設設備費を減らす為にコントロールケーブルを削り、CTにメーターをつけ、どうせ人間が多いのだから、人間が

いるといふ。ところがこれでは運転など出来ない筈がない。電業局は、建設終了後、引渡されると、自分でとつておいた予算で建屋を建て、テレメーターリングも備える。即ち使

この様な縦割り組織で、何か下

部でトラブルが発生すると、それを解決するのが極めてやつかないと

なる。すべて、上まで上がらないと決まらない。

と決まらない。

例えば、武漢に、楊子江横断の長径間送電線がある。22万ボルト設計、千七百メートルのスパン。支持物は、高さ百四十五メートルの巨大なコンクリートポール。何のことはない、巨大煙突である。

この送電線が出来た時(一九五九年)防振措置が悪く、電線が微風振動で切れ出したことがあった。

この時設計院曰く「設計はとうに終っている。設計書面は提出済み」。工事屋は、「こんな変な設計では、物が作れない(当時は電線付属品や金具は、工事屋が設計院の作った図面により自分の工場で加工する)」。供電局は「こんな、いつ切れるか分からぬ様な送電線は、受けとる訳にはいかない」と。三者共責任回避する。しかもその間、誰も振り向かない間でも、電線の素線は引き継ぎ振動でだんだん切れていくのだ。電圧も既に11万ボルトをかけて送電しているというのに(中国では、何でも竣工する前から、即ち工事進行中でもどんどん使い出す)。止むを得ず、中央の電力部から、強力

基本建設局及電業管理局を設け、更にその下には各省の設計処、工事所、供電局があり、設計、工事、運営は、全く別々の系統の事業所で行なうのである。

これらの下部組織は、皆独立し

た併列の事業所であるから、お互

の人事交流や情報交換は、どうし

ても、一つの会社と違つて、スムーズには行かない。施工や運営の実状を充分理解せずに設計をしたという例も屢々生ずる。今は笑い話となってしまったが、例えば、

電業所を建設するのに、設計者は

予算を節約する事を考へ、変圧器

修理用建屋を削る。何年かに一度

の修理なら、テントでもよからう

との発想だ。又、建設設備費を減らす為にコントロールケーブルを削り、CTにメーターをつけ、どうせ人間が多いのだから、人間がいるといふ。ところがこれでは運転など出来ない筈がない。電業局は、建設終了後、引渡されると、自分でとつておいた予算で建屋を建て、テレメーターリングも備える。即ち使

この電業所を建設するのに、設計者は

予算を節約する事を考へ、変圧器

修理用建屋を削る。何年かに一度

な「工作組」(命令を実行させる指導グループの事)を派遣し、中央のきびしい行政命令を携えて、設計・工事及運営の三者を強制的に一堂に集め、中央の威光によつて、前後策を考えさせ、実行させたことがあつた。私も、このグループの一員だったので、三者を協調させるのに大いに苦労した。結局、差し当り应急措置をとつてから、入手出来る材料と加工能力より適切な設計をし直し、防振金具を作り出し、とりつけ、その後振動測定までして、その効果を確認してから運営に引継がせた。その前後2年以上も、かかつたことを覚えている。おかげで、毎日の様に百四十五メートルのコン柱を登り降りをし、あの地獄の如き武漢の酷暑を二度も経験する破目になつてしまつたのである。

(五)

もう一つのソ連式の分業で非常に不合理な例を挙げてみよう。

例えば、電線は機械工業部傘下の電線工場で作るが、電線のジョイントは作らない。故に止むなく工具類はユーナーである電力部が自分で作ることとなる。懸垂碍子については、つい最近までは、ピンとキヤップ等の金物は、ユーナーの

電力部が自分の工場で作り、それを機械工業部の碍子工場へ持つて行き、そこで作られた磁器部と一緒に一堂に集め、中央の威光によつて、前後策を考えさせ、実行させたことがある。私も、このグループの一員だったので、三者を協調させるのに大いに苦労した。結局、差し当り应急措置をとつてから、入手出来る材料と加工能力より適切な設計をし直し、防振金具を作り出し、とりつけ、その後振動測定までして、その効果を確認してから運営に引継がせた。その前後2年以上も、かかつたことを覚えている。おかげで、毎日の様に百四十五メートルのコン柱を登り降りをし、あの地獄の如き武漢の酷暑を二度も経験する破目になつてしまつたのである。

論今は碍子工場がピン・キヤップを作る付属工場を持つてゐる。又、機械工業部の工場は、製品を作つても、修理はしない。例えば発電機は作つても修理はしないので、電力部自身でせねばならず、従つて電力部系統には相当の修理工場を持つてゐる。

この様な方式は、何も電力に限らず、一般工業も然りである。一旦工場から出荷されたものを、ユーザが自分に使い易い様に直してから使用するのである。外国人が中国の工場を見学して先づビックリするのは、殆どの工場が、不相応の規模の加工工場を持つていて、生産設備を作る能力を持ち、多数の工作機械と人員を抱えている事であるが、その根元は、この様な組織分業から來るのであろう。

委員会の指導の下に夫々相互間の協調協力を統けて行くという形になると言う。

しかし、これも今は願望だけであり、今後実際には如何に発展するかは、大いに期待は寄せ得るか、どうなるかは、やってみないと分からぬであろう。

る。即ち、いくつかの大地区に電力会社を作り、夫々独自の発展をさせて行くと同時に、エネルギー

昭51・2 谷岡敏彦
昭50・1 トルンティエンルン
昭54・1 田中章太郎

記載ミス

勤務先別名簿の項
昭36・2 川本博久
誤 ソニーの項(P三六八)
正 シャープの項(P三五九)
上から六行目(一)

広告の項
中国高圧コンクリート

株式会社(前50下)

本社・営業部

〒730 広島市中区小町4番33号
電話 082-243-6606(代)

〒739-104 広島県佐伯郡大野町
字妙見新開

七三一〇一

電話 0829-55-0811

名簿発送をおえて

今回発送しました名簿の総数は

三、五〇四部で予定通り11月末に

発送することが出来はつとしておられます。印刷物が出来てくる時は期待と不安が交錯して複雑な感情ですが、一部会員よりご叱正のありました名簿の正確性については記載事項に変更のあった会員各位のご連絡を待つより方法がありません。よろしくご協力の程を!!

会員住所変更一覧表

昭和62年12月20日現在
(表中略敬称)

前号(昭和62年10月号)に題記発表後12月20日までに次の会員の住所変更のご連絡がありましたので掲載致します。これ以後の分は、次号掲載とさせていただきます。あしからずご了承ください。

表中、卒業年次の数字は、前月号の一覧表中の表示と同一ですので省略致します。

卒業年	氏名	住所	番	電話
大068	黙郎夫夫郎正雄	和泉市府中町810-10-4棟-406号	594	0725-45-3696
昭020	二一治悟敏洋	横浜市瀬谷区瀬谷1-9-5	246	045-303-5032
"098	伯飼野田本田本	京都市右京区嵯峨嵯峨ノ段町39-28	616	075-882-5447
"100		三浦市三崎町諸機1500 油壺エデンの園3-606	328-02	0468-89-2717
"100		鳴門市北灘町柳木張47	771-03	0886-88-0417
"180		富士見市水子6380 志木シルバーハイツB-309号	354	0462-47-6733
"190	厚木市温水322-43		243	

卒業年	氏名			住所	番	電話
昭190	藤永	敦彦	敦彦郎	茨木市鮎川2-15-8	567	0726-34-6044
"210	武田	邦一	宏雄	横浜市金沢区富岡西4-14-10	236	045-771-1486
"210	西田	一郎	通宏	三鷹市深大寺3-8-11	181	0422-32-6687
"230	三浦	誉清	文通	横浜市緑区青葉台1-24-3	227	045-982-9700
"240	門野	上田	宏彌	新居浜市星越町19-10	792	0897-32-3972
"260	井好	田上	俊彦	吳市和庄登町22-18	737	0823-25-6127
"286	村伊	吹本	好夫	横浜市港北区すみれが丘5-12	223	045-592-0133
"286	杉		宏	東京都大田区矢口3-28-8 アルス多摩川512号	146	03-756-2378
"300				横浜市緑区松風台2-1	227	045-983-1498
"331				武藏野市境4-5-11	180	0422-54-8660
				東京都世田谷区駒沢4-18-22	154	03-410-4098
				不二ロイヤルハイツ208号		
"332	町田	昌	弘男	堺市三原台4-7-11	590-01	0722-94-0631
"352	泉布	谷野	也三	横浜市栄区犬山町50-5	247	
"361	林	中内	理明	出雲市塩冶町1283-20	693	0853-21-5701
"371	竹池	内吹	紘絃	川西市小戸1-12-11	666	0727-59-0493
"372	松伊	崎合	恒義	三鷹市上連雀2-15-18	181	0422-42-9104
"392	真川	永岡	田崎	横浜市栄区中野町1345-75	247	045-892-6411
"402	永岡	坂口	恒真	奈良市左京1-18-22	631	0742-71-7050
"403	佐藤	分利	靖倫	西宮市仁川町6-8-3	662	0798-51-7963
"412	岡川	岡本	直淳	京都市左京区一乗寺野田町2-2 ハイツ白川715	606	075-722-4317
"421	堀	江水	眞俊	奈良県北葛城郡河合町泉台1-89	636	07455-6-5306
"422			俊	東京都世田谷区世田谷2-28-6	154	03-428-2259
"423			輔	横浜市旭区金ヶ谷537-58	241	045-953-3755
"423			三	大津市馬場3-9-10	520	0775-21-0818
"431			久史	大和郡山市城町1473-50	639-11	07435-4-3665
"432			久	つくば市吾妻2-712-1102	305	0298-51-0148
"433			彦	南足柄市斑目390	250-01	0465-73-2299
"433			彦	西宮市甲陽園山王町1-92-307	662	0798-72-7402
"433			則	横浜市緑区元石川町6732-14	227	045-902-0313
"441			輔	7282 Monterey Lane hapalma Ca., 90623		
				U.S.A.		
"443	岡	林	聰生	藤沢市羽島2-2-18	251	0466-33-1707
"443	小岡	林	志行	清水市桜橋町6-10 中電アパート202号	424	0543-66-4797
"451	岡田	村	敏一	座間市緑ヶ丘5-11-19 (表示変更)	228	0462-56-0520
"451	向	川野	男司	岡山市津島東2-4-3-1	242	0462-76-7745
"453	麻岩	永木	康男	東京都板橋区蓮沼町8-1 志村電気ビル5-A	700	0862-52-9122
"461	青	村原	一司	習志野市津田沼6-1-2-103	174	03-965-9129
"461	西藤	上津	典潤	大津市瀬田月輪町410-89	275	0474-51-6939
"471	中村	津田	夫男	神戸市北区甲榮台1-9-B-106	520-21	0775-45-3630
"472	船石	原田	健	京都府相楽郡精華町大字下狹小字車付7-104	651-11	078-594-2585
"472	石嶋	田原	清	鹿児島市五ヶ別府町3883-20	619-02	07449-3-2101
"481	前城	田原	穂	横須賀市長沢94 N T T 長沢社宅2-3-104	891-01	0992-65-0638
"483	城大	大蟹	潤夫	与野市鈴谷1045-1 南与野ロイヤル302号	239	0468-49-6418
"491	前城	前田	一男	藤沢市宮前364-11 (表示変更)	338	0488-52-8437
"491	城大	木谷	典	東京都渋谷区西原3-33-11 飯塚ビル301号	251	0466-27-9738
"491	前城	木田	典	横浜市戸塚区品濃町553-1 パークヒルズ I -401	151	03-469-8716
"493	大蟹	木田	樹	松戸市松戸3-296	244	045-821-6531
"501	前田	木田	治	市原市有秋台西2-5 三石C 19-101	270	0473-46-7574
"501	前田	木井	樹	富山市藤見町1226-28	299-01	0436-66-3063
"503	前三	木井	治	町田市旭町3-25-3-202	930	0764-23-3202
"511	中	木井	邦	我孫子市柴崎台4-8-7 メゾンソレイユ102号	194	0427-26-9492
				877 Lily Avenue, Cupertino, CA 95014	270-11	0471-82-8054
				U.S.A.	408-252-2935	
"511	山下	一郎	彦	茨城県筑波郡谷田部町二の宮1-1-1-206	305	0298-55-5530
"513	辻	一本	彦	横浜市神奈川区松見町4-944 松見台ハイツ101	221	
"521	永吉	田	雄	国分寺市日吉町3-3-9 サンライズ櫻202号	185	0423-22-0910
"521	和田	田野	吾	箕面市坊島1-13-24	562	0727-21-8667
"522	高	島	明	赤穂市中庄264-203	678-12	07914-2-2964
"523	高	松	典	川崎市高津区末長8-2 コスモ棍ヶ谷409号	213	044-855-6726
"523	辻	野富	司	小田原市西酒匂1-8-11	256	0465-48-1995
				日立酒匂アパート (留守宅)		
"523	諸加	藤村	孝	京都市南区唐橋門脇町29-1 ルネ西大路406号	601	075-672-0348
"523	中	田	敏	熊本市千葉城3-45 N T T 新堀A P 111号	860	096-325-3850
"531			節	豊明市新栄町4-58	470-11	0562-97-3890
"531			雄	名古屋市名東区名東本町107 大廻間宿舎1号	465	052-781-4647
"531				寝屋川市清水町35-19	572	0720-27-0339

卒業年	氏名	住所	電話
昭531	松下 哲	神戸市垂水区小東山5-4-10	655 078-791-6376
"532	黒木 茂	栃木県那須郡西那須野町下永7-1420-15	329-27 02873-6-8789
"533	木名 古	日立市諏訪町4-15-3-3	316 0294-32-1893
"533	今葛 正	川口市並木1-16-29 正幸ハイツ101号	332 0482-51-2871
"541	前澤 隆	川崎市宮前区鷺沼1-12-2-302	213 044-852-0224
"541	見 尚	相模原市矢部1-17-11	229 0427-59-2957
"542	小川 韶	西宮市甲子園六番町3-4-303	663 0798-47-8932
"542	田中 龍	福知山市字新庄560-1	620 0773-22-8656
"542	橋浦 純	横浜市金沢区並木3-1-8-204号	236 045-784-5826
"542	条野 昭	伊丹市西野1-317-103	664 0727-79-9684
"543	東大 一	川口市小谷場1003-1 パークヒルズB201	333 0482-66-5071
"543	野石 俊	横浜市緑区新石川4-3-12 サンロード飯島305	227 045-911-4473
"543	大 一夫	小平市上木本町1473 日立鉄木新田社宅B3-3	187 0423-24-0232
"551	杉原 一	東京都杉並区上井草2-17-19 上井草グリーンハイツ117号	167 03-397-8736
"551	猪村 進	川崎市幸区小倉1-1 パークシティ新川崎G-1205	211 044-541-5474
"552	松原 洋	伊勢原市石田861-1 N T T 伊勢原社宅8-302	259-11 0463-94-9370
"552	竹村 雄	厚木市栄町1-12-14 メゾン静厚莊B-6	243
"553	杉谷 茂晋	横浜市戸塚区平戸町210 ピューティM/C 東戸塚601号	244 045-824-7559
"553	横田 英博	横浜市金沢区谷津町65-1ハイテラス金沢文庫830	236 045-785-9188
"562	矢藤 浩	横浜市保土ヶ谷区和田1-13-21 工藤ビル504号	240
"563	伊藤 寛一	長岡京市今里南平尾20-2-244	617 075-952-1633
"563	池本 晃	高松市西町6-15 原マンション304	760 0878-37-2577
"563	岩林 修	柏江市東和泉3-2618-18	201 03-430-4815
"563	小佐 修昭	清瀬市野塙5-279-3 大川マンション203	204 0424-93-6448
"563	佐伯 勝	大阪市天王寺区勝山3-6-20 グリーンハイツ勝山501	543 06-779-5482
"563	斎藤 俊哉	日野市多摩平2-10-6 コーポ石川203号	191 0425-84-6064
"563	坂根 清和	東京都杉並区高井戸西1-5-27 新日鐵高井戸アパート1-302	168 03-332-1668
"571	喜多 雅	京都市左京区田中玄京町36 ハイツ高山201	606 075-701-5280
"571	田岡 雅	武蔵野市西久保3-24-10 山田莊103	180 0422-55-1420
"571	岡村 光	八王寺市宇津木町1067 宇津木台2-5-504	192 0426-91-6875
"572	井上 哲	藤沢市湘南台4-2-14 サンコープ湘南104号	252
"572	斎藤 光哲	国立市東4-5-26 館ハイツ204号	186 0425-76-9406
"573	澤辺 弘	大津市田上開津町827-186	520-22 0775-46-2497
"573	斎澤 弘学	東京都世田谷区池尻3-10-10 三菱電機世田谷住宅2-105	154 03-411-5208
"573	兵頭 順	横浜市緑区美しが丘1-13-4 やよいビル311号	227 045-903-5261
"573	阿高 正樹	水戸市渡里町3217-1 シャトー野木A211	310 0292-31-8890
"573	大白 勝	東大阪市小阪1-12-12-1008	577 06-781-0907
"581	苗村 幸昌	京都市左京区聖護院山王町9 ハイム西川405	606
"582	中村 昌和	越谷市千間台西3-3-3-15-205	343 0489-75-2294
"572	大白 英彦	横浜市緑区榎が丘21-10 メゾンド青葉台502号	227 045-982-0520
"592	中村 実明	東大阪市加納476-2 アメリア1-512	578 0720-75-4781
"593	上田 宏	勝田市田彦426-3 日立第1明心寮812号	312 0292-72-0042
"593	小林 宏	神戸市灘区篠原伯母野山町2-3-1 神鋼六甲寮1-505	657 078-881-7041
"601	太田 宏	横浜市磯子区杉田9-2-12 N T T 富岡第1独身寮B-316	235 045-773-2480
"601	堀内 至	倉敷市鶴の浦1-3-10 若樹寮C-310	712 0864-44-9200
"603	高野 雅	高槻市土橋町3-10	569 0726-73-5360
"603	木村 真定	東京都千代田区九段南1-4-6 九段3号宿舎801	102 03-263-6376
"613	小鈴 一典	日立市石名坂町1-19-3-101	319-12 0294-52-6460
"613	木箱 一尚	京都市左京区田中大堰町10-1 スチューデントイン谷川318号	606 075-721-6952
"613	木箱 一尚	府中市日新町1-10 N E C 府中寮A403号	183 0423-61-7312
"622	木箱 一尚	裾野市今里527 第3東富士寮2420	410-11 05599-7-2550
"622	木箱 一尚	川崎市中原区上新城1-4-39 富士通第1新城寮220号	211 044-752-0937

講	大	7	浅	賀	春
講	大	4	富	永	和
講	大	14	侯	野	麻
昭	昭	3	萩	野	太
昭	昭	3	東	勝	郎
昭	昭	4	百	夫	
昭	昭	13	友	善	
昭	昭	17	五	郎	
昭	昭	19	國		
昭	昭	20	奧		
昭	昭	23	野		
佐	横	23	山		
藤	田	20	縣		
彰	木	19	朝		
洋	久	17	次		
以上の方々がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。					
62	62	62	58	62	62
5	11	7	5	5	9
27	8	30	17	5	8
5	27	8	30	17	5
12	10	4	10	4	12
1	10	4	10	4	12
3	23	1	23	1	3

明けましておめでとうござります。本年もよろしくお願ひ致します。昨年は事務局の移転と名簿の発行に伴う校正、広告の整理、名簿の発送をおえてやつと一息つく暇もなく本号の発行と本当に目まぐるしい年末でした。

今回発送しました名簿の総数は三、五〇四部と今までの最高の送付数となり返送数も会員各位の転居のご連絡により今回は5部のみとなりました。ご協力賜りました会員に厚くお礼申上げます。今後共よろしくお願ひします。

編集後記